

(1) 実施機関名：

(独) 防災科学技術研究所

(2) 研究課題（または観測項目）名：

火山観測網整備

(3) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(1) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

イ. 地震発生・火山噴火の可能性の高い地域

(4) その他関連する建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(1) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

ア. 日本列島域

4. 計画推進のための体制の強化

(1) 計画を推進する体制の整備

(5) 本課題の5か年の到達目標：

「今後の大学等における火山観測研究の当面の進め方について」（平成 20 年 12 月 15 日）により重点的に火山観測網を整備することになった火山について、基盤的な火山観測施設を整備し、火山研究に有効な観測データを収集する。これらの観測データは関係機関に流通させ、火山噴火予知研究や火山の監視に活用できるシステムを構築する。また、この観測網により取得されたデータにより、対象火山の火山活動を把握する。

(6) 本課題の5か年計画の概要：

火山観測網を整備する対象火山に孔井式地震計・傾斜計、広帯域地震計、GPS 観測装置を備えた観測施設を整備し、データをつくばの防災科学技術研究所に伝送し、保存するとともに関係機関に流通し、関係機関で活用できるシステムを構築する。

平成 21 年度は、有珠山、岩手山、浅間山、阿蘇山、霧島山で観測網整備に着手し、以後、順次対象火山を広げるとともに、観測点数を増強する。またデータ保存、流通、公開のためのシステムを順次、整備していく。

(7) 計画期間中（平成 21 年度～25 年度）の成果の概要：

平成 21 年度に有珠山と岩手山各 1 箇所、浅間山や阿蘇山、霧島山に各 2 箇所計 5 火山 8 箇所、平成 23 年度には草津白根山に 1 箇所の火山観測施設を整備した。平成 25 年度には先述の火山に加え十勝岳や樽前山、北海道駒ヶ岳、雲仙岳、口永良部島の計 10 火山 23 箇所において火山観測施設が整備されることになった。本計画期間中に構築された 11 火山 32 箇所の火山観測データ及び気象庁等の火山データは防災科研のシステムによって保存され、流通・公開されている。

(8) 平成 25 年度の成果に関連の深いもので、平成 25 年度に公表された主な成果物（論文・報告書等）：

棚田俊收・鵜川元雄，2013，防災科学技術研究所における火山防災研究の取り組み，防災科学技術研究所資料，380，65-68.

(9) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

独立行政法人防災科学技術研究所 観測・予測研究領域地震・火山防災研究ユニット

他機関との共同研究の有無：有

東京大学地震研究所、東京工業大学、京都大学、北海道大学、東北大学、九州大学など、対象とする火山で連続観測を実施している機関の協力を得て実施。

(10) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名：防災科学技術研究所 アウトリーチ・国際研究推進センター

電話：029-851-1611

e-mail：toiawase@bosai.go.jp

URL：http://www.bosai.go.jp/index.html

(11) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者

氏名：棚田 俊收

所属：観測・予測研究領域地震・火山防災研究ユニット